



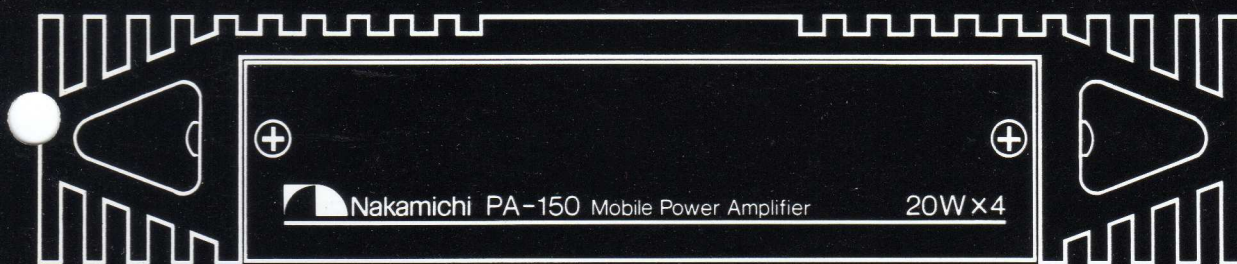
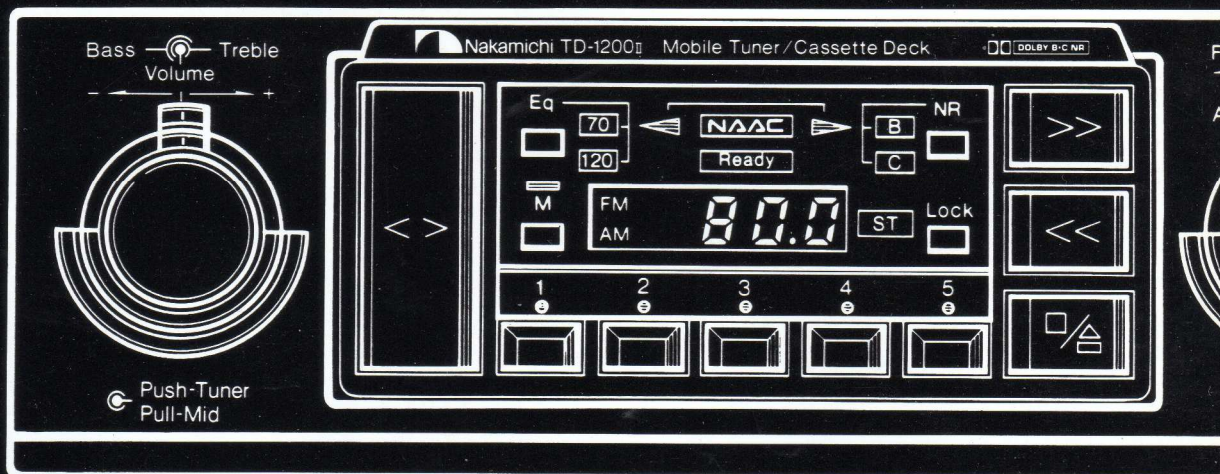
Nakamichi

Mobile Sound System

TD-1200II/PA-150/EC-200

TD-1200II

Mobile Tuner/
Cassette Deck

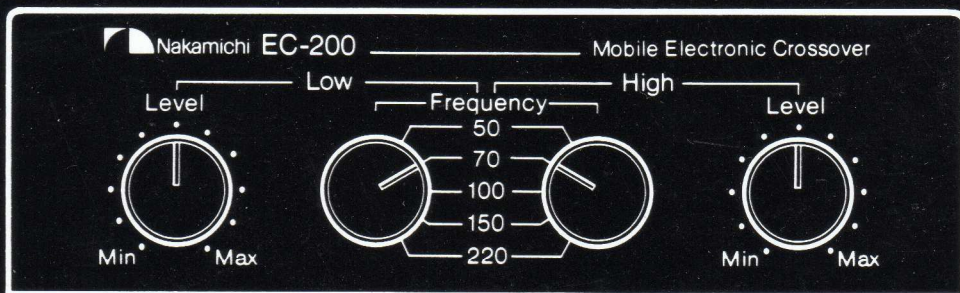


PA-150

Mobile Power Amplifier

EC-200

Mobile Electronic Crossover



New Product Information

究極のモバイルチューナー/デッキTD-1200が、シェイプアップして新登場。

TD-1200 II

Mobile Tuner/Cassette Deck

¥248,000



TD-1200オリジナルとの最大の相違点は、シャーシおよびフロントパネルをDIN(ドイツ工業規格)サイズ化してひとまわり小さくし、一層取り付けやすくなったことです。

輸入車はもちろんですが、国産車においてもカーオーディオ取り付けスペースにDINサイズが採用れつつあるため、多くの車種でNakamichi Mobile Sound Systemを楽しんでいただけるようになりました。

その他の変更点は、①カセットコンパートメントのスライドアウトフックをブラック仕上げとしてパネルフェイスに一段と精悍さを増し、さらにフロントのインジケータースクリーンにスモーク仕上げをほどこし、視認性をさらに向上。②チューナー・スイッチと連動したパワーアンテナコントロール出力を新設。機能性も向上しました。クオリティーはオリジナルそのまま、スタイルをシェイプアップしたTD-1200 II。モバイルサウンドがさらに身近かなものとなります。

TD-1200 IIの主な特長

カセットデッキ部

- 0.6ミクロンギャップ・クリスタロイヘッドにより、周波数特性20~22,000Hz±3dB。
- スーパーリニアトルクモーターの採用と、新発想のスライドアウトメカニズム&大型フライホイールにより、ワウ・フラッター0.045%以下(WT D RMS)。
- 再生ヘッドの自動アジマス調整機構 = NAAC(ナーク)により、高域のロスを防止。リバースしても音色の変化は無し。
- オートリバース再生機構。
- ドルビーB-TypeNRおよびC-TypeNR採用。
- スライドアウト方式カセットコンパートメントによりヘッドクリーニングも容易。トラブルを未然に防止。
- 2ポジション・再生イコライザー。
- 車内という特殊なヒアリング条件を考慮し設計されたLow/Mid/High3ウェイ・トーンコントロール。
- DC・DCコンバーターによるホーム用デッキ並

の±電源を採用したプリアンプ部。

- 後部だけでなく、前部にもスピーカーを設置する場合に備え、出力はステレオ2系統。音量バランスは前後、左右ともコントロール可能。

チューナー部

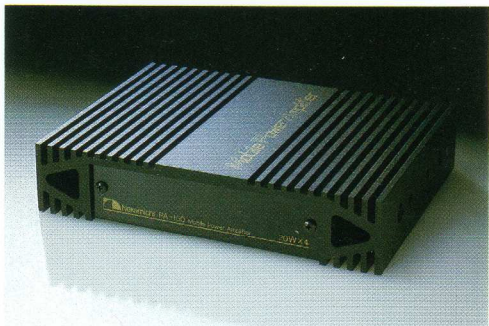
- FM/AMクォーツPLLシンセサイザー方式。
- FM5局/AM5局プリセット。オートスキャンマニュアルチューニングシステム。
- FMステレオモードでは電界強度に応じてレンド量を自動的に調整するオートマティックパレージョン機構により、地形や建物などの響による空電ノイズを抑制。さらに必要に応じて、ハイブレンドモードあるいはモノラルモードへの切り換えもできます。
- 読みやすいセンター部集中表示。
- イグニッションを切る前にプロテクションロックスイッチを押すと、付属のキーに刻印されているパーソナルコードナンバーをインプットするまでシステム全体が機能を停止するプロテクションロック機構。

ホームオーディオ並みの音質を実現した、20W×4ch.の小型・高性能モバイルパワーアンプ。

PA-150

Mobile Power Amplifier

¥35,000



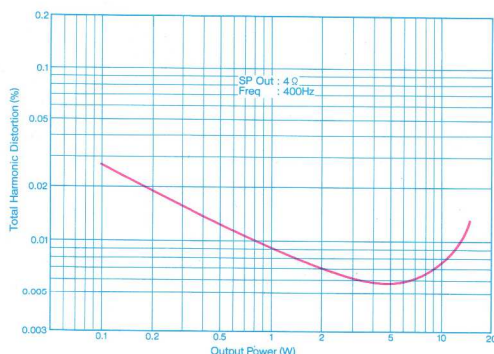
先に発表したPA-300と同様、ホームオーディオの音質基準で設計されたフロント、リアスピーカー(スピーカーシステム)用の4チャンネルモバイルオーディオ用パワーアンプです。最大出力はチャンネル当たり20W。小型車などでは十分すぎるほどのハイパワーです。PA-300に比べると小型で、車での設置場所を選びません。もちろん、外観上の虚色を一切排して回路設計に力を注ぎ込んでおられるNakamichi Mobile Sound Systemの中核であるチューナー/デッキ TD-1200 II と組み合わせれば、その真価を100%引き出します。1台でトータル80Wのビッグパワー。コンパクトな外観からは信じられないほどのハイファイサウンドをほとばしらせます。

PA-150の主な特長

- サーキットコンストラクションに、コンピューターシミュレーションによる最新の回路設計技術と、デッキのアンプづくりで培われたNakamichiのノウハウを傾注。トリプルNF回路の採用で、0.008%以下(4Ω、400Hz、5W出力時)という車載用パワーアンプとしてはトップクラスの低歪率と、100dB以上(IHF A-WTD)という高S/N比を実現。
- 3組あるNFループのうち音質を決定づけるメインNFループに、音質劣化の原因となるカップリングコンデンサーを一切用いないDC(直結)アンプ構成を採用。
- 通常車載用パワーアンプでは、車のオルタネーターから発する雑音を防止するためチョークコイルを用いますが、PA-150は絶妙な回路テクニ

- クによりチョークコイルを排し、音質向上と電源のレギュレーションの向上を図っています。
4. 取り付け場所を選ばないコンパクトな設計。マウント金具付属。
 5. 表面積を可能な限り大きくとった高純度アルミニウム製ヒートシンクが、温度上昇を効果的に抑え、安定なアンプ動作を保証。

6. 異常な温度上昇や出力端子のショートなどからパワーアンプ本体、スピーカーユニットの破損を防ぐプロテクションサーキット内蔵。
7. 併用するチューナー/デッキ(例えば、TD-1200 II)の電源スイッチと連動して、リモートパワーon/offが可能。



第1図 PA-150全高調波歪率対出力特性

パワフルな重低音再生を可能とする スーパーウーファーシステム用クロスオーバーネットワークです。

EC-200
Mobile Electronic Crossover
¥35,000

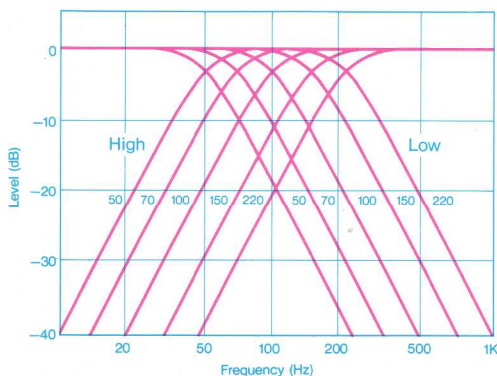


カーオーディオの先進国・アメリカでは、スーパーウーファーを付加したマルチアンプシステムが一般化しています。やはり、車の中という特殊な音響空間でクリアで迫力ある重低音を得るには、スーパーウーファーシステムを追加することが理想といえるでしょう。EC-200は、スーパーウーファーを加えたマルチアンプシステムの中核となる、小型・軽量のモバイルオーディオ用クロスオーバーネットワーク。クロスオーバーポイントは50~220Hzの範囲でLow側、High側とも別々に5段階に切り換えて設定でき、さらにそれぞれのレベルコントロールが可能。電源部にはDC-DCコンバーターを採用し、Nakamichi独自のノウハウで低歪率、高S/N比を実現。スーパーウーファーを使用したマルチアンプシステムをプラスして、ホームオーディオ並のパワフルな重低音再生をお楽しみください。

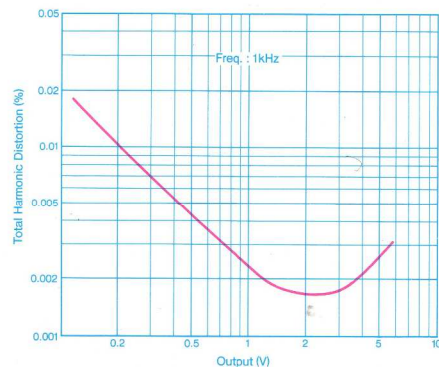
EC-200の主な特長

1. スwitチングパルス方式によるDC-DCコンバーターを採用した12V±電源部。音に有害なカップリングコンデンサーを排したDC(直結)アンプ構成で、0.003%(1kHz、2V出力時)という低歪と105dBの高いS/N比を実現。
2. 他のモバイルサウンドコンポーネント、TD-1200II(チューナー/デッキ)やPA-300、PA-150(パワーアンプ)にベストマッチする音質重視設計。
3. クロスオーバー周波数は、50Hz、70Hz、100Hz、150Hz、220Hzの5つがLow側/High側とも別々に選択可能。音量レベルも独立可変です。このため、スーパーウーファーとスピーカーシステム

- とのつながりがスムーズでなかったり、車内固有の共振(200Hz前後)で低域がこもった感じになる場合も、Low、Highのクロスオーバー周波数を離して設定することにより、細かな補正が行え、聴感上自然な再生音が可能です。
4. スロープ特性は18dB/oct.と急峻なため、シャープな帯域分割が可能。
5. Low/High独立したレベルコントロールにより、スピーカーやパワーアンプの能率の違いも補正可能。
6. 小型・軽量タイプのため、取り付け場所を選びません。マウント金具付属。

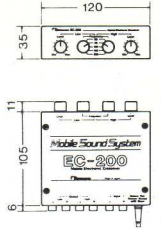
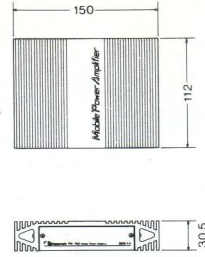
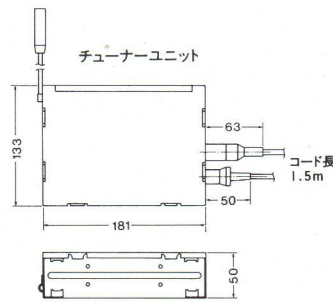
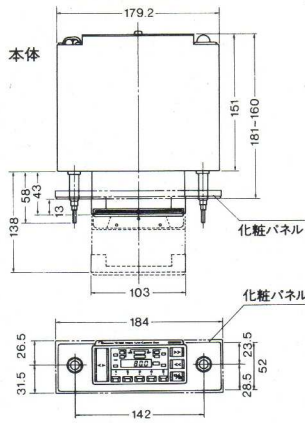


第2図 EC-200クロスオーバー周波数特性



第3図 EC-200全高調波歪率対出力特性

寸法図



主な規格

TD-1200 II

●カセットデッキ部

- テープ速度……………4.8cm/秒
- ワウ・フラッター……………0.045%以下 WTD RMS
±0.09%以下 WTD Peak
- 周波数特性……………20~22,000Hz ±3dB(Nakamichi Test Tape)
- 総合S/N比……………ドルビーCタイプNR on<70μs、ZXテープ>
70dB以上 (400Hz、3% THD、IHF A-WTD RMS)
ドルビーBタイプNR on<70μs、ZXテープ>
64dB以上 (400Hz、3% THD、IHF A-WTD RMS)
- チャンネルセパレーション……………35dB以上 (1kHz、0dB)
- クロストーク……………60dB以上 (1kHz、0dB)
- 早送り、巻き戻し時間……………約70秒 (C-60テープ使用)

●チューナー部

- FM-
- 受信周波数……………76.1~89.9MHz
- 実用感度……………20dBf (IHF)
- 50dB SN感度……………26dBf (Mono)
- 全高調波歪率……………0.08% (Mono、1kHz) 入力65dBf
0.13% (Stereo、1kHz) 入力65dBf
- S/N比……………65dB (Mono)
- 周波数特性……………30~15,000Hz ±3dB
- 実効選択度……………60dB (±400kHz)
- イメージ妨害比……………65dB
- IF妨害比……………80dB
- ステレオセパレーション……………35dB (1kHz、65dBf)
- アンテナ端子……………75Ω (アンパランス)

-AM-

- 受信周波数……………531~1,602kHz
- 実用感度……………36μV
- 選択度……………20dB ±9kHz
- イメージ妨害比……………50dB
- 全高調波歪率……………2% (400Hz、30%変調)

●プリアンプ部

- 周波数特性……………10~50,000Hz ±1dB
- 出力レベル/インピーダンス…1.1V/870Ω
- 全高調波歪率……………0.005%以下
- トーンコントロール
- Bass……………40Hz ±18dB
- Mid……………200Hz ±10dB
- Treble……………20kHz ±12dB

大きさ

- TD-1200 II 本体……………179(巾) × 52(高さ) × 182(奥行)mm <DINサイズ>
- チューナーユニット……………181(巾) × 50(高さ) × 133(奥行)mm

重さ

- TD-1200 II 本体……………約2.5kg
- チューナーユニット……………約0.85kg
- 電源……………DC13.2V マイナスアース (使用可能範囲10.8~15.6V)
- 消費電流……………最大3A

PA-150

- 最大出力……………20W × 4 RMS (4チャンネル駆動、4Ω、400Hz、10% THD)
- 実効出力……………14W × 4 RMS (4チャンネル駆動、4Ω、400Hz、0.05% THD)
- パワーバンド幅……………20~20,000Hz (4チャンネル駆動、4Ω、0.5% THD)
- 全高調波歪率……………0.008% (4Ω、400Hz、5W)
- 周波数特性……………5~50,000Hz +0、-3dB
- S/N比……………100dB以上 (IHF A-WTD、定格出力)
- ダンピングファクター……………150以上 (4Ω、400Hz)
- 入力感度/インピーダンス……………0.8V/47kΩ (定格出力時)
- ステレオセパレーション……………80dB以上 (4Ω、400Hz)
- 電源……………DC14.4V マイナスアース(使用可能範囲 10.8V~15.6V)
- 消費電流……………最大: 10A (4チャンネル駆動、4Ω、20W × 4)
音楽再生時: 約3A (4Ω)
- 負荷インピーダンス……………4Ω以上
- 大きさ……………150(巾) × 30.5(高さ) × 112(奥行)mm
- 重さ……………約0.8kg

EC-200

- 消費電力……………0.53W
- 消費電流……………40mA
- スロープ……………18dB/oct
- クロスオーバー周波数……………50、70、100、150、220Hz (Low、High独立可変)
- 全高調波歪率……………0.003%以下 (1kHz、2V出力時)
- S/N比……………105dB以上
- 入力レベル/
インピーダンス……………1V/100kΩ
- 出力レベル/
インピーダンス……………0~2V可変/5kΩ
- 最大入力レベル……………3.5V
- 電源……………DC13.2V マイナスアース (使用可能範囲 10.8V~15.6V)
- 大きさ……………120(巾) × 35(高さ) × 105(奥行)mm
- 重さ……………約320g

- 規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- ドルビー及び DOLBY マークは、ドルビー研究所の登録商標です。
- ドルビー・システムは、ドルビー研究所からの実施権に基づき製造されたものです。

ナカミチ株式会社 〒187 東京都小平市鈴木町1-153

東京事業所/国内営業部 〒160 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル11F Tel. (03)342-4477

札幌営業所 〒060 札幌市中央区大通り西14-1 五輪ビル1F Tel. (011)271-3744

福島営業所 〒960-11 福島市下鳥渡字新町西6-1 Tel. (0245)46-8382

名古屋営業所 〒450 名古屋市中村区名駅南1-28-19 名南クリヤビル7F Tel. (052)551-0440

大阪営業所 〒556 大阪市浪速区難波中2-7-2 NCビル6F Tel. (06)644-5220

福岡営業所 〒812 福岡市博多区博多駅東2-6-28 サンライズ第5ビル8F Tel. (092)471-1346